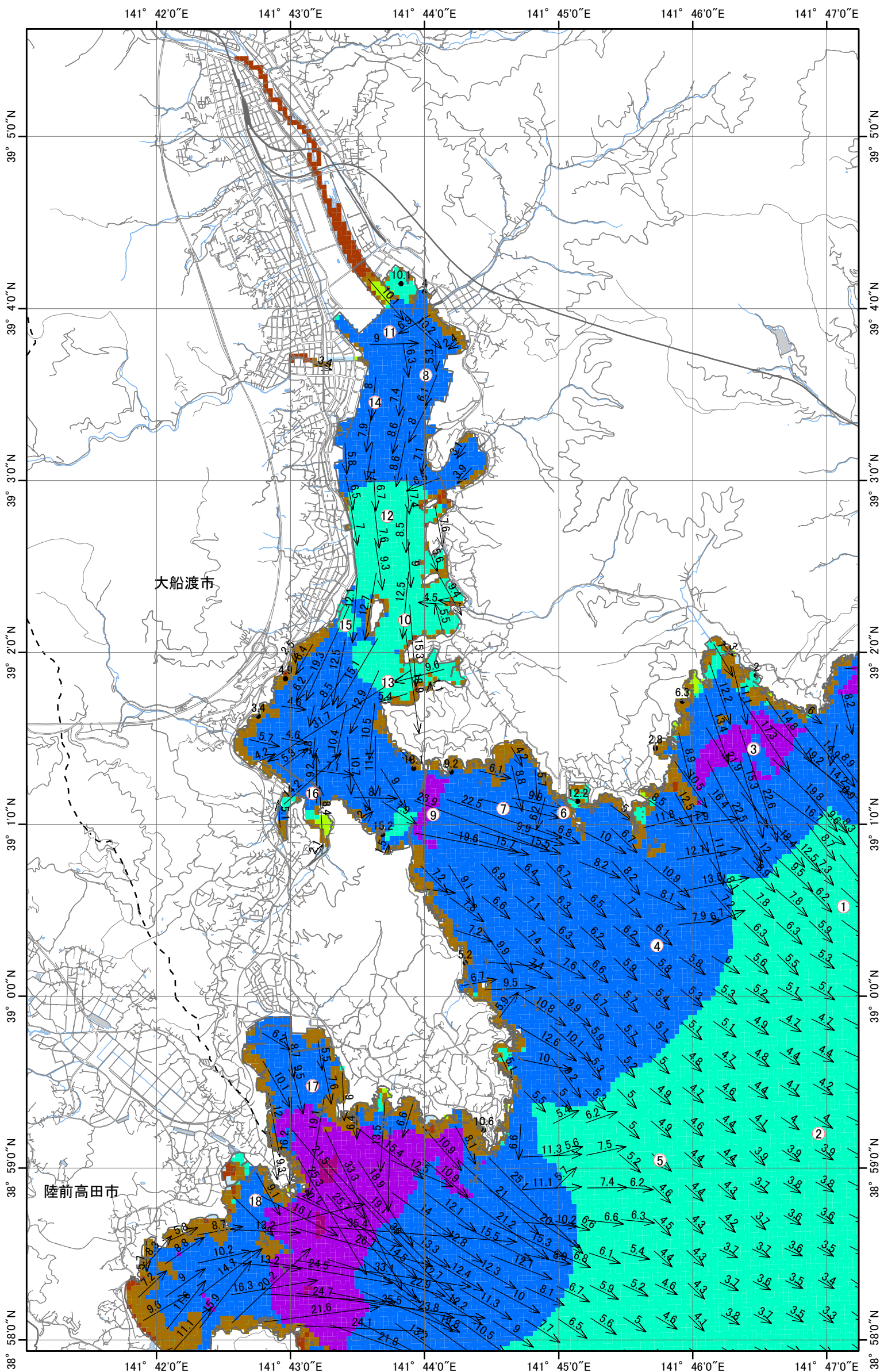




座標系：メルカトル図法
測地系：世界測地系 (WGS84)

計算条件：最低水面 (零位)
隆起量：平均 -1.30m (-1.48m ~ -1.01m)
Zo：0.88m
備考：本図のシミュレーション結果は、震源の位置、規模、細かな地形などの影響により、実際のものとは異なることがある。



凡例

- 最大水位低下
- 20~最大24.3m
 - 10~20m
 - 5~10m
 - 3~5m
 - 2~3m
 - 0.5~2m
 - 0.5未満
 - 干出域
 - 露出域
 - No. 経時変化図出力点

(図上の位置における津波の挙動を別図の経時変化図で示す。)

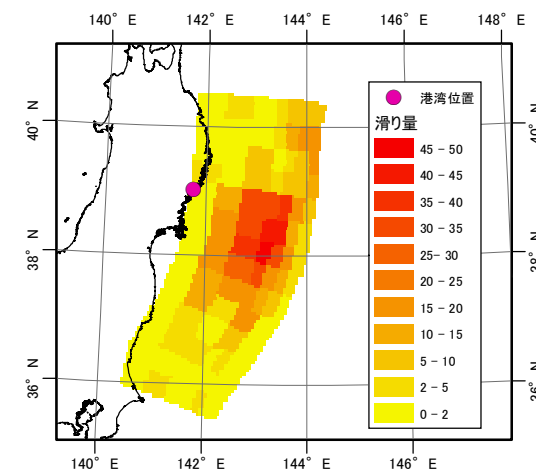
引潮時最大流 [knot]

- 12 knot
- 8 knot
- 4 knot

○ 防護施設は、津波の越流と同時に破壊されるものとして計算している。

○ 流向変化が激しく、進入・引潮等の判別が困難な海域では、流速のみを表示した。

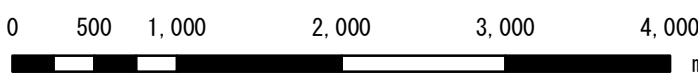
断層モデル



東北地方太平洋沖地震

モーメントマグニチュード Mw	9.0
-----------------	-----

本断層モデルは、内閣府の「南海トラフの巨大地震モデル検討会」(平成24年3月1日)により公表されたものである。



○ 本図の作成にあたっては、「津波解析支援GISシステム (ArcGIS 10 対応)」を使用した。
○ 本図の作成にあたっては、以下の資料を使用した。
・海上保安庁が保有する水深データ
・基盤地図情報5mメッシュ (標高)・10mメッシュ (標高)、及び基盤地図情報 (国土地理院発行 国土地理院長承認 承認番号 平30情使、第326号 平成30年6月27日)